

平成26年度 第1号



松露庵

松露庵は、市立古瀬公園内の一角を占める旧古瀬邸を改修した、本格的な茶室です。にじり口を持つ三畳台目の小間のほか、水屋を兼ねた六畳間及び八畳間の和室で構成されています。この2つの和室は1つの部屋としても利用できます。庭は待合を配した日本庭園です。茶道のほか華道、句会、歌会など、日本の伝統文化の様々な活動の場としても利用できます。

松露庵 武蔵野市桜堤1丁目4番22号  
開館時間 午前9時～午後5時  
TEL 0422-36-8350

■ 目次 ■

着任のご挨拶……………(1)

平成26年度北多摩東地区保護司会定期総会……………(2)

春の叙勲受章者・第64回社会を明るくする運動……………(3)

第64回社会を明るくする運動……………(4)

社会参加活動・北多摩東地区BBS会活動について……………(5)

ぶんくつピックス……………(6)

第1期地域別定例研修……………(7)

愛光女子学園を訪問して……………(7)

桐友会だより……………(7)

市の花……………(8)

退任保護司紹介・新任保護司紹介……………(8)

編集後記……………(8)

本年4月1日付けで東京保護観察所立川支部長を拝命しました。これまで、神戸、千葉、仙台、福島の各保護観察所、法務省保護局、東北地方更生保護委員会、府中刑務所、法務総合研究所で勤務してまいりました。甚だ微力ではございますが、管内の更生保護事業発展のため全力を尽くす所存ですので、よろしくご支援・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

昨年、東京都保護司会連合会が、創立60周年記念誌「東京における保護司活動」を発刊されました。同誌を拝読し、多摩地区管内の各保護司会が地域において創意工夫を重ね、自治体や関係機関とも連携しつつ、多様な活動を活発に展開されていることを知りました。また、立川支部長就任後、平成23年に多摩地区保護司会連絡協議会設立50周年を記念して発刊された「多摩連50年のあゆみ―多摩地区の更生保

護―」を知り、驚きと大きな喜びを感じまし、



着任のご挨拶  
東京保護観察所立川支部長  
南元 英夫

った。そこには、多摩連結成前史として、昭和14年司法保

護事業法の成立に際し、三多摩及び八王子市で司法保護委員に任命された方々の氏名や住所、各保護区における観察事件取扱状況までが記されています。極めて貴重な資料であり、編纂にご苦労された編集委員の皆様にご敬意と感謝を表したいと思います。同誌には、各地区の歴史や組織・活動状況に加え、多くの元地区会長等から寄せられた思い出が掲載されています。昭和36年「地域社会と相携え、明るい多摩地区の建設に邁進、相互の結束を強化、研鑽に努める」ことを目的に多摩連が結成され、爾来、各地区の連携・交流を図ってこられた歴代保護司の皆様のご熱意と矜持に触れ、自らの重責に改めて身が引き締まる思いがいたします。先達の思いを繋ぎつつ、時代の変化や社会のニーズにかなった更生保護活動を保護司の皆様と共に進めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成26年度

## 北多摩東地区保護司会定期総会

本年度北多摩東地区保護司会定期総会が、4月17日(木)国分寺Lホールにて開催され、会員総数102名の内96名(委任状39名を含む)、来賓12名、四市事務局8名が出席されました。

森田忠男副会長の開会の辞に始まり、須崎英夫会長は、保護司を取り巻く現状や保護司会のかかえる厳しい状況と今後取り組むべき課題などについてお話しされました。また、新しくお迎えした南元英夫東京保護観察所立川支部長からもご挨拶をいただきました。



議事は吉野恵夫議長、中野美智子副議長、天野由里佳書記を選出して進みました。

議題は次の通りです。  
1 平成25年度活動報告について  
(小山茂副会長)

2 平成25年度収支決算の認定及び監査報告(清水勉会計理事、指田昌雄監査)

3 平成26年度活動計画(案)について(須崎英夫会長)

4 平成26年度収支予算書(案)について(伊藤紀子会計理事)  
議題はすべて承認されました。

つづいて、来賓の邑上守正武蔵野市長からご挨拶をいただき、吉祥寺駅前周辺施設のオープンなどについてお話があり、稲葉孝彦小金井市長はご挨拶のなかでゴミ処理などは今や一つの市を越えた広域にわたる必要性があることを話されました。また、井澤邦夫国分寺市長からは「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」についてお話がありました。三鷹市長からのメッセージが伊藤幸寛部長によって代読されました。そして、四市議会議長を代表して与座武蔵野市議会議長ならびに森久保康男多摩地区保護司会連絡協議会会長からもご挨拶をいただきました。その後、小林悦子副会長の閉会

の辞で総会を終了しました。

つづいての懇親会は山代法道桐友会代表世話人の乾杯の発声で始まりしました。来賓や四市の皆様の和やかな交流の場となり、大矢照男副会長の中締めで終了しました。

(総務部 松村 久子)

## 第33回多摩地区更生保護事業関係者顕彰式典開催

7月4日(金)午後2時から立川第2法務総合庁舎9階、東京地方検察庁立川支部大会議室において、多摩地区更生保護事業関係者顕彰式典が開催されました。

当日の受彰者は保護司48名、更生保護女性会員62名、保護司会事務担当7名、BBS会員8名、協力雇用主1団体、合計125名1団体の方々が受彰。

北多摩東地区保護司会受彰者

笠岡 展子氏(三鷹)

池谷 敏子氏(国分寺)

戸倉 史江氏(国分寺)

顕彰式典では、感謝状が多摩連の森久保会長から受彰者の代表5名に贈呈され、その後受彰者を代

表して、北多摩西地区の雨倉寿久保護司から「この感謝状を励みに、相手の気持ちになり誠意をもって真剣に取り組むことが、対象者の心を開くと信じ、これからも努力していきたい。」という趣旨の謝辞がのべられました。

受彰者の皆さま、受彰おめでとうございます。

式典に続き、更生保護施設「紫翠苑」施設長の名取雄三氏による「紫翠苑の処遇」と題する講演があり、苑生との心温まる交流の様子を交えながら、紫翠苑の具体的な取り組みの紹介がありました。

名取氏はこれまで6か所の少年院長を歴任され、少年鑑別所や婦人補導院での勤務歴もあり、また矯正研究所の教官として後輩の指導に当たってこられました。そして6年前から「紫翠苑」の施設長として、犯罪や非行をした人たちを保護し、社会復帰できるような援助や支援のための先頭に立ち活躍しております。

講演が終了し、顕彰式典は盛会のうちに幕を閉じました。

(多摩連提供記事より)

春の叙勲受章者

瑞宝双光章

保護司 當麻 光氏



平成26年4月29日付、春の叙勲において、當麻光氏（小金井分区）が瑞宝双光章の榮に浴されました。當麻さんは、昭和62年5月に保護司を拝命、平成21年11月に法務大臣表彰受章、27年にわたり多くのケースを担当する傍ら、会長・分区長・地域活動部長としても活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

第64回

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

武蔵野分区

4月の市役所隣のむさしの市民公園での「桜まつり」、5月の「境ピクニック」に続き、7月5日午前11時より、吉祥寺駅及び武蔵境駅周辺にて、リーフレット・ティッシュ・花の種等を通行する方々へ配布し、広報活動を行いました。

当日は市長を始め社会を明るくする運動推進委員の方々、中高生リーダー、むさしのジュニア合唱団「風」の方々、計68名に参加して頂きました。雨の中、熱心に配布している姿が印象的でした。今後各地域の「境まつり」・「延



命寺薬師講縁日盆踊り大会」・「桜堤コミセン夏祭り」や、11月の「青空市」でも広報活動を行う予定です。

その他武蔵野市報、ホームページへの掲載、大矢分区長のむさしのFM出演が行われました。（武蔵野分区）

小金井分区

「社会を明るくする運動」事業の実施について

① 駅頭広報活動

7月1日、16時半より小金井市内三駅の駅頭において、ポケットティッシュの配布による広報活動を行いました。今年は慌ただしい朝

の通勤・通学時間帯を避け、比較的時間に余裕のある夕刻に行いました。稲葉市長をはじめ、市内5校の中学生



13名及び引率の先生もボランティアで参加し、若い力で社明運動をアピールしました。

② 子ども映画会広報活動

7月24日、午前・午後の2回に分け、小金井市民交流センターにおいて「怪盗グルーのミニオン危機一髪」の上映会を行いました。800名の親子が観覧し、受付や場内

整備による広報活動を行いました。今回は観覧希望者多数のため、抽選会を行い実施されました。



③ 「小金井阿波おどり」広報活動

7月26日、「第36回阿波踊り」が、延べ4万人の観客が見守る中、開催されました。竹うちわ配布による街頭広報活動を行いました。（小川 和男）

### 三鷹分区分

社会を明るくする運動の講演の集い



三鷹分区分では7月15日三鷹市教育センターにおいて健康心理士で保護司(三鷹分区分)でもあります高玉泰子先生により「心の健康と人とのつながり」と題して講演会を開催しました。現代社会では大人から子どもまでストレス過多でもっと頑張れ、耐えて我慢、心身にムチ打てとストレスが溜まりま

症状また問題行動の変化等があげられます。うつ状態の人と話す時は、何があるかを聞き、初めの5分位は情報収集に徹し、じっくり傾聴する。何が問題なのか訊く、問題解決よりも安心・信頼の関係づくりをして安心感を与えることが大事と講演されました。大変有意義な講演を聞き、私どもの仲間(保護司)にこのような素晴らしい先生が居ることを誇りに思うとともに、保護司として対象者の面接等に活かしていきたいと思えました。(岡田 英一)



7月1日 第二中学校の生徒と共に三鷹駅での広報活動

### 国分寺分区分

今年のひまわり畑の迷路は?

今年の「ひまわり畑」は、畑を貸してくださったっている前社明運動推進委員会副委員長長森田林三さんのご好意により、畑を広げることになりました。

毎年、観賞や迷路を楽しんだ後、ひまわりを片付ける際に、背の高いひまわりは茎が太く、重労働でした。そこで、今年は昨年より背の低いひまわりの種をまきました。広くなったひまわり畑は植え替



えや除草などの作業量も倍になりましたが、推進委員の方や北多摩東地区保護司会の社会参加活動の積極的な取り組みにより一面に花を咲かせました。道路に面した部分のひまわりは長さ50mを超え、横断幕やのぼり旗により「社明運動」をPRしています。今年で5年目になるひまわり畑も少しずつ浸透し、地域の方もひまわりを観賞していました。また、昨年と違った迷路に子供たちも歓声を上げていました。

(和地 誠一)



「ひまわり迷路」畑で  
社会参加活動

— 国分寺市 社会を明るくする運動 推進委員会と共催で実施 —

7月12日、心配されていた台風8号の影響もなく、好天に恵まれたこの日、北多摩東地区保護司会社会参加活動が行われました。

場所は、国分寺市 社会を明るくする運動 推進委員会が、保育園児に楽しんでもらおうと造っている「ひまわり迷路」畑です。

国分寺市長、主任官、畑提供者をはじめ、対象者3名、保護司15名、更生保護女性会2名、BBS2名、民生・児童委員など40名を超える参加者がありました。

対象者は担当保護司や参加者に交じって、強い日差しの中、共にそれこそ泥にまみれ、汗水流しながら、草取り作業に専念しました。

力を合わせ、黙々と作業した結果、予定よりも早く終了し、ひまわりよりも高く伸びた草は一扫され、畝には黒々とした土が蘇えりました。畑提供者の手により肥料

がまかれ、ひまわりは更に逞しく成長し、立派な花を咲かせてくれることでしょう。

作業後、近隣の会場で、懇談・昼食会を行いました。昼食をとりながらの懇談で会話は弾み、楽しい笑い声まで聞こえてきました。

保育園児が歓声をあげながら「ひまわり迷路」を元気いっぱい走り回る日も間近です。楽しみです！

大勢の関係者に囲まれながら、共に汗を流した一日を通して、対象者には「待っているよ！」との社会復帰への期待感を暗黙のうちにかけてもらえたのではないのでしょうか？

(国分寺分区 坂田米子)



北多摩東地区  
BBS会活動について

木下 芽



こんにちは、北多摩東地区BBS会の平成26年度会長になりました木下芽です。

今回は、BBSの活動内容についてお話します。

BBS会は兄や姉のような身近な存在として、少年たちと一緒に悩み、一緒に学び、一緒に楽しむ青年ボランティア団体です。非行をした少年等のともだちとなつてその自立を支援する「ともだち活動」「非行防止活動」「自主研鑽」の3つを柱として実践活動を行っています。

北多摩東地区BBS会は会員の大多数が東京学芸大学の学生で構成されています。そのため、中学校での学習ボランティア等にも力を入れていきます。学校で不応を起こしてしまうような子ども達が

今後、非行少年になってしまわないようにサポートできたらなと思っています。

一度少年院に入ってしまうと、社会からの目は正直冷たいものがあります。最終的には、もっと更生保護についての理解を社会に広めていくことができればよいと思っています。しかし、現状私たちに出来ることは、非行に走る前の少年たちや、少年院から出てきて保護観察中の少年たちの自立や社会復帰を支援することだと思います。

現在、中学校にボランティアに行く中で、子供たちが居場所や他者からの承認を求めているのかもしれないと感じています。そういったところを私たちBBS会員が埋めてあげられたらいいと思います。

平成26年度 新役員

〈会長〉

〈副会長〉

〈会計〉

〈多摩地区BBS担当〉

木下 芽

迎 晴香

大淵 美貴

宮本 淳子

仲野 梨

ぶんくろピックス

武蔵野分区



平成26年5月29日愛知県岡崎市の岡崎医療刑務所を訪問し視察研修をいたしました。明治14年愛知県監獄岡崎支署として設置され、昭和46年本所に昇格、現在に至ります。全国に4ヶ所ある医療刑務所の1つで現在166名が収容され、精神的に何らかの障害を持った男子受刑者に専門的治療処遇が実施されています。作業、精神医療、教育活動等が行われ、作業は主として精神障害に対する医療効果を得らった単純工程の軽作業を行っています。特に土に親しむ作業は精神不安や、緊張を和らげる治療効果が期待出来ると窯業やラン栽培などの園芸を積極的に導入しているそうです。帰りがけに彼らの作品である茶碗や季節の花の鉢植えを皆で購入させていただきました。

医療刑務所で日々受刑者と向き合われる担当官の方々のご苦労には頭の下がる思いをし、とても貴重な研修でした。(山崎 祐子)

三鷹分区



今年の5月に石井功八氏が退任されるので、例年より早く5月21日(22日)に送別会を兼ねて静岡刑務所視察研修を行いました。その前の5月14日の定例会では分区の自主研修として20年にわたる貴重な経験談をお聞きし、「苦労もあつたが、全体に楽しい思い出だった」と話してくれました。

静岡刑務所は国の組織の他に民間の組織とタイアップした警備業務や教育、作業、職業訓練を導入して物品製作や木工、印刷、洋裁、金属加工等大型機械が多くあります。そして、出所前に就職先が決まることが多いこと



と特徴だ」とのことでした。翌日は松崎の漆喰芸術の殿堂「伊豆の長八美術館」を見学しました。(音田 大樹)

小金井分区



6月10日、総勢9名にて小金井市役所を出発し、途中、山梨県立美術館を見学し、昼食後甲府刑務所を視察しました。甲府刑務所では、主に26歳以上で刑期10年未満の犯罪傾向が進んでいる男子懲役受刑者を収容しており、個々の資質及び環境に応じたその自覚を基に、更生意欲の喚起及び社会生活に適應する能力の育成を旨とし、作業、改善指導、教科指導等を行っています。

受刑者は薬物乱用者と窃盗・強盗の累犯者が7割近くを占め、外国人収容者や暴力団関係者も収容されています。また、特別な事情を有する受刑者への改善教育として「薬物依存離脱指導」、「暴力団離脱指導」、「性犯罪再犯防止指導」、「被害者の視点を取り入れた教育」等が行われています。刑務作業における応接セット製



作は、代表的な事業部作業であり、型、色等も豊富にそろえていることから、各地の即売会でも好評を得ているようです。

また、出所に際し山梨県更女会員が再発防止の願いを込め「心に迷いが生じたときには、鈴をならして母を思い出して下さい」と書かれた「母の鈴」を渡し、「もう二度と罪を犯さないで」と呼びかけています。澄みきった音色を聞き、出所者の再犯防止を願わずにはいられませんでした。(信山 勝由)

国分寺分区



平成26年6月6日金栃木刑務所にて管外研修が行われた(参加者14名)。施設は洋裁・金属組立・紙細工、自営作業として洗濯・炊場・清掃等施設の一般作業の他、美容科・フオークリフト運転科・ホームヘルパー科・総合美容技術科・ビル設備管理科等があった。

質疑応答では「出産」という女子刑務所にしかない問題とその対応や、受刑者の出所後の追跡調査がなく就労支援教育の成果の見えにくさや過剰気味の受刑者数に対し刑務官不足という解決しにくい状況を知った。

今回の研修では、法務省（役所）と刑務所（現場）の乖離や解決しにくい様々な問題を多く知り、その中で保護司は今後どう活動するのかを自問する機会となった。



（林 博行）

## 第1期地域別定例研修

今年度最初の地域別定例研修が、6月23日（月）に国分寺、6月26日（木）には三鷹でそれぞれ開催されました。今期のテーマは「生活環境の調整」。北多摩東地区担当の平田主任官にご講義をいただきました。

私が参加した三鷹での研修には、その2日前に三鷹市内であった大量の降雹の影響も心配されましたが、武蔵野・三鷹地区を中心

に36名が集まりました。

保護司から観察所に寄せられる質問で、一番多いのが「生活環境調整」に関するものだそうです。私達はレジュメとともに配布された、「生活環境調整報告書（甲）」を見ながら講義を受けました。主任官が一つひとつの項目につき、具体例も交えながら丁寧に留意点を説明して下さいだったので、経験の浅い私にも大変よく解りました。生活環境調整では、引受人の意志を確認し、対象者が釈放後に健全で自立した生活が送れるよう、準備を整えていくわけですが、決して結論を急がず、まずは引受人と良好な関係を築いて、ありのままの状況を観察所に報告することが大切だと感じました。

地域別定例研修は、保護司の質を高めるための貴重な機会です。地区で参加できなかった場合には、本庁や立川支部での補講もありますので、活用してください。

（研修部 戸倉 央江）

## 愛光女子学園を訪問して

北多摩東更生保護女性会

鈴木 汎子

去る5月12日、武蔵野プレイス

で、北多摩東更生保護女性会総会が開催されました。

会員の皆様を始め、北多摩東地区保護司会並びに各関係機関の皆様方のご支援のお陰で当会が無事に活動できましたこと、心から感謝申し上げます。

今年度の活動計画の中のひとつに、矯正施設収容者に対する訪問激励があります。

今回は、狛江市にある愛光女子学園を訪問しました。

6月18日「学習発表会」に、保護者の方、関係機関の方、当会から2名の方が参観しました。

体育館の壁には、きれいなレイス編、絵手紙、俳句の短冊などの作品が飾られてありました。

2つのグループが舞台上に臨み、七夕のいわれにちなむ発表を行いました。これまでの生活、非行したことへの後悔、これからの決意などを自分自身の言葉で伝えることができたのではないかと思います。

ご家族の方、職員の方々の見守る中で熱い思いが伝わってきました。園で学んだことを生かして幸せになつてほしいと願いました。

私達更女活動は優しく、温かく支える地域社会作りだと思えました。

## 桐友会だより

山代 法道

北多摩東桐友会は、本年も5月23日、武蔵野市において、総会を開催しました。

当日は、北多摩東地区保護司会の須崎英夫会長、四市の各分区長（副会長）及び地区更生保護女性会の鈴木汎子会長にご出席いただきました。

今年は、世話人の退会や逝去があり、桐友会会員の出席者は25名中8名でした。

総会は、平成25年度の事業報告及び決算報告が行われ、事業については、従来同様の他、初めて武蔵野分区を中心に有志会員による懇親会が開催されました。

また、規約の一部改正が行われ、会員の資格について、東京桐友会の会員でなくても、保護司を退任された方は入会可能となりました。

議事終了後、保護司会長から、東京桐友会の会費を、現在の分区会負担から、個人負担とし、地区桐友会の会費を無料とする。地区会の運営費は、保護司会が助成する。との提案があり、今後地区桐友会で検討することになりました。

新世話人 国分寺 二瓶 洋子氏  
新入会員 国分寺 田中 康義氏

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

平成二十六年九月一日発行

発行者 尾作 義明氏

編集者 小森 裕史氏



はなかいどう

三鷹市「はなかいどう」 昭和52年9月～11月15日に三鷹市市の木・市の花選定委員会で検討、昭和52年11月24日、三鷹市緑化推進委員からの建議による40種の候補の選定、昭和53年1月市民アンケート実施を経て、同年12月18日に市の木・市の花を決定しました。(昭和54年1月1日制定)



むらさき

武蔵野市「むらさき」

武蔵野とゆかりの深い植物として、古くから和歌にも詠まれています。いまや「幻の草」となりつつあります。

古今和歌集巻17の雑歌

紫のひともとゆえにむさし野の 草はみながらあはれとぞ見る

よみ人しらず

市の花

国分寺市「さつき」

昭和45年市報にて市民に公募しました。「さつき」は種類も多く、増殖が容易で花が美しいことから、庭木などに愛されています。



さつき

応募52点、29種類の 中から決定しました。(昭和46年1月1日制定)

小金井市「さくら」

武蔵野のゆたかな緑にかこまれた小金井市は、水清い泉のむらからおこり、名勝小金井桜の地として人々に親しまれ、環境のよい文教住宅都市として発展してきました。人口が約4万人となった昭和33年10月1日に市制が施行され、市の花は桜になり、市章は桜の花びらを配し本市を表象しています。



さくら



(国分寺分区) 尾作 義明氏 9月1日発令



(国分寺分区) 本多 晴敬氏 5月25日発令

新任保護司

左記の方が委嘱されました。今後のご活躍を期待致します。

- 近藤 統祥 (武蔵野分区) 平成26年5月24日付 在職32年
- 石井 功八 (三鷹分区) 平成26年5月24日付 在職20年
- 田中 康義 (国分寺分区) 平成25年9月16日付 在職34年

退任保護司

永い間お疲れ様でした。今後も益々お元気でご活躍下さいますよう祈念申し上げます。



(国分寺分区) 小森 裕史氏 9月1日発令

編集後記

会報のカラー化から7号目、年2回の発行も定着し、内容も徐々に見やすく、分かりやすくをモットーに、広報部一同毎号試行錯誤を繰り返しています。今号の新たな企画として、四市の「花」を捉えその由来を特集しました。初めて知った方...如何でしたか。皆様のご意見、提案をいただき、次号に反映していきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。また、ご寄稿いただきました皆様には、部員一同心からお礼申し上げます。

広報部員一同

